

「自由な実験、結果発表、確認実験の流れで、流れる水のはたらきの理解にせまる」
第5学年「メダカの誕生」

小城支部 牛津小学校 武廣大輔


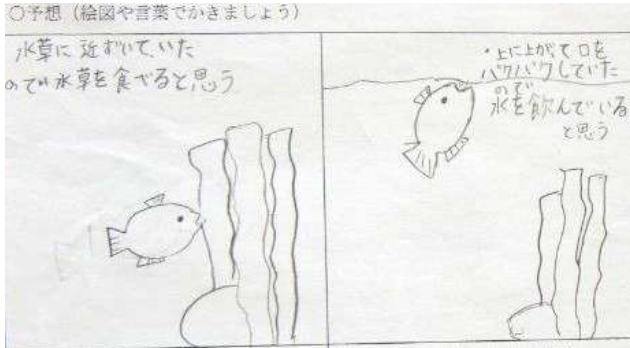
1 単元計画

- メダカを観察してみよう . . . 1時間
- メダカのおすとめすの違いを調べよう . . . 1時間
- メダカのたまごの変化を観察しよう . . . 2時間
- メダカの食べ物を調べよう . . . 1時間 (本時5/7)
- 水の中の小さな生物を観察しよう . . . 2時間

2 本時の目標

- 根拠を持って予想をたて、結果と比較しながら結論を記述することができる。

3 授業の実際

児童の学習活動や主な反応	具体的な指導 (授業構成のポイント)
<p>1. ヒメダカと黒メダカを比較する。</p>  <p>野生のメダカは、何を食べているのだろうか。</p>	<p>○視点を増やすことができるように、気付いたことを全体の場で発表させる。</p> <p>○違いがどこからくるのかを考えさせる。</p> <p>体の大きさが違う。</p> <p>体つきが違う。食べ物が違うからかな。</p>
<p>2. 予想を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎水草に近づいていたので、水草を食べる。 ◎水槽の苔を食べていたので、苔を食べると思う。 ◎口が小さいので、小さい生き物を食べる。 <p>○予想 (絵図や言葉でかきましょう)</p> 	<p>○絵図や言葉で記入させる。</p> <p>◆根拠を持って予想を立てることができる。 (科学的な思考・表現)</p> <p>☆根拠を明確にして予想を立てることができるように、メダカマップをみることを認める。</p> <p>☆実験の幅を広げたり、根拠を明確にして予想を立てたりすることができるよう、予想を全体の場で発表させる。</p>

3. 実験をする。



すごい。苔を食べた。

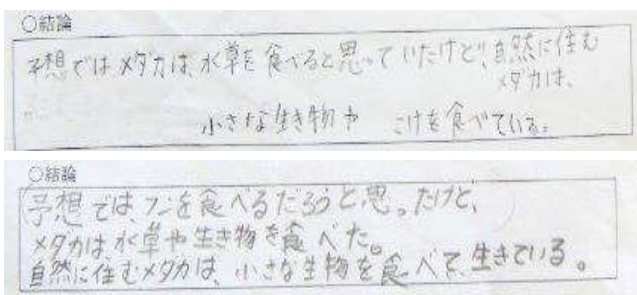
一回吐き出したけど、その後また口に入れて食べた。

水草は食べない。



○絵図や言葉で結果を書かせる。

4. 結論を書く。



◆予想と結果を比較しながら、結論を記述することができる。(科学的な思考・表現)

☆結果を書く際には、予想やメダカマップを振り返り書くよう声かける。

5. 結論を発表する。

4 考察

- 「メダカマップ」(観察しての気づきを記入したマインドマップのようなもの)を活用したことにより、自分の考えを整理したり、いつでも見て活用したりすることができた。
- 「メダカメモ」(個々の気づきを付箋一枚に一つずつ書き、広用紙に貼ったもの)を活用したことにより、友だちとの交流ができ、見方や考え方を広げることができた。
- 根拠を示して自分の予想を立てることができるようになってきたこと
- 結論の段階で自分の考えを示すことができるようになってきた
- 一つ一つの気づきの結びつきがさらに強くなるような「メダカマップ」の取り扱いを再考したい。
- 「メダカマップやメダカメモを自分の考えづくりに生かせていない子供がいるので、自分の考えを効果的に振り返らせるための方法を再考したい。